

# 様々な教育活動を通じ、地域と共に進める平和教育

## 府中市立国府小学校

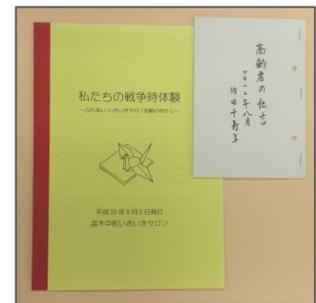
### 1 取組の概要

本校では、平和教育を各教科等の内容と関連付けるとともに、学校、家庭・地域社会と連携して平和教育に取り組んでいる。児童の発達段階に配慮した学習内容を系統立てて、計画的に実施している。

まず、平和の尊さについて実感的に捉えさせるために、地域の被爆体験者の方からの聞き取りを行ったり、地域の方がまとめられた手記や記録を資料として活用したりしている。

また、国語科では、平和に関連した教科書の教材を学習することを通して、自分に何ができるか考えて意見文を書き、話をしていただいた被爆体験者に届けている。

さらに、児童の読書活動の充実を図るため、学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めていくリーダーとして児童の中に育成した「子ども司書」を中心として、平和に関する読書会を開いたり、平和に関する本を集めた平和コーナーを設置したりするなどの取組を行っている。このように様々な教育活動を通じた取組により、平和についての自分の考えや理解を児童に深めさせていくようにしている。



地域の記録・手記

### 2 本実践事例について

#### (1) 本事例実施の背景・これまでの取組

第5学年では、事前学習を行った上で広島平和記念資料館や平和記念公園の見学、戦争体験・被爆体験等の聞き取り等の体験的な学習を通して、平和の尊さを考えている。低、中学年時には、高学年児童による平和に関するブックトークを聞いたり、地域の方の府中での戦争体験を聞いたりして認識を深めている。

第6学年では、平和の尊さについて自分の考えをもたせることをねらいとして、地域に住む被爆者の方から被爆体験を聞いたり、国語科の平和に関連した教科書の教材で筆者のメッセージを考えたりする学習を設定している。また、自分の考えを深めるために、平和をテーマとした本を読み、多様な視点から平和について考える取組を行っている。

#### (2) 指導のポイント

- ☆ 国語科学習指導要領に示されている目標や内容に従い、単元全体の指導計画を作成する。
- ☆ 「子ども司書」の活動として、平和に関する本のブックトークを行う。図書室にコーナーを作ったり、他学年に読み聞かせをしたりして、全校に広げていく。(付けさせたい力2, 3)
- ☆ 戦争を過去の出来事としてとらえるのではなく、「今の自分」と重ねて考えることができるよう、自分の意見を言葉で文章にさせる。(付けさせたい力3)

### 3 本事例の指導計画

#### (1) ねらい

地域在住の被爆者の方の話を聞くことや平和のブックトークを行う活動を通して、平和を願う気持ちとこれからの社会を前向きに生きていこうとする気持ちを養う。

#### (2) 対象学年 第6学年（全8時間）

	主な学習活動	指導上の留意事項
第一次 8月上旬	○被爆体験者の方の話を聞く。 ・昭和 20 年 8 月 6 日に世界で初めて広島に原子爆弾が落とされ、多くの被害が出たことを知る。 ・地域に住んでおられる被爆者の方の話を聞く。	・被爆者の方の生き方から、前向きに生きることの大切さを感じ取られるよう事前、事後の指導を行う。
第二次 9月上旬	○「平和」について考える。 〈教科書の教材〉平和のとりでを築く ・筆者のメッセージについて考える。 ・平和のとりでを築くのはだれかを考えることを通して、平和についての自分の考えをまとめ伝え合う。	・5年時の社会見学で、原爆ドームや広島平和記念資料館を見学したときの感想や意見を出し合わせる。 ・「平和のとりでを築くのはだれか」を考えることを通して、自分たち一人一人が平和を願うことや、戦争を許さない気持ちをもつことの大切さに気付かせる。
第三次 9月中旬	○平和に関する本を読み、ブックトークを行う。 ・「子ども司書」が中心となり、平和に関する読書会を開く。 ・児童一人一人が「読書カード」を持ち、平和に関する本を読み、あらすじ、感想、心に残った言葉を記述する。 ・グループで、平和に関するブックトークを行う。	・「子ども司書」の児童に、ブックトークのポイント等を他の児童に説明させ、モデルを示させる。 ・「子ども司書」の児童に本校の図書室や府中市立図書館にある平和に関する本を収集させ、平和コーナーを作らせる。
第四次 9月下旬	○平和に関する意見文を書く。 ・これまでの、経験や読書活動を通して、平和のとりでを築くために自分に何ができるかという内容に触れた意見文を書く。	・完成した意見文を図書室の平和コーナーへ掲示するとともに、お話し下さった方に届ける。

### 4 児童の反応（授業後の感想）

- 私は、「子ども司書」として、平和に関する本を集めました。集める中で、平和の第一歩は「知る」ことだと思いました。一人でも多くの方が、平和に関する本を手に取り考えてもらうことが私ができる平和のとりでを築くことだと思います。
- ぼくの平和のとりでを築くことは、言葉で自分の思いを伝えることだと思います。言葉で伝えることで、暴力や争いが減ると思います。